

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団

所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番地10号
深川消防団本部

TEL:03-3642-0119
FAX:03-3641-4422

「災害に強いまちづくり」を目指す為、消防団に期待!!

正業の傍ら、防火防災に尽力頂いている消防団に支援を積極的に行います。



**6月30日山崎区長を表敬訪問
消防団とのかわりについて
お考えをお聞きしました。**

山崎江東区長に消防団への思いをお忙しい中お聞き致しました。その一端をご紹介します。

まずは生業の傍ら、地域の防火防災活動のために、尽力頂いている深川消防団のみなさまには心から感謝申し上げます。

関東大震災から85年経過した今年、東北地方では、震度6を超える地震が二度も発生し、関東地方でも、いつ大地震が発生するか予断を許さない状況にあります。消防団員のみなさまも、予想される大震災に備え、日々、訓練されているかと思いますが、行政としても「災害に強いまちづくり」を目指しています。

その一環として4月1日から避難場所が変更されたことに伴い、江東区全図1種類・地区内残留地区1種類・避難場所5種類合計7種類の防災マップを新たに作成する予定であります。この地図には避難所のほかにも災害時の対処法や非常持出品なども紹介しています。

また震災時の大規模停電に備え、自動起動する発電機を豊住公園と南砂三丁目公園の一部に設置し、夜間の照明を確保します。震災対策用の応急給水施設が設置されている両公園を無停電化することで、暗闇での混乱を防ぎ、区民のみなさんの不安を軽減するための施設整備も推進しています。

区内にある全小・中学校への備蓄倉庫の整備、民間建築物の耐震支援の拡大など、スピード感を持って、施策に取り組んでいます。

他にも区をはじめ、消防等防災関係機関と連携し、防災体制を整備していきますが、加えて区民ひとりひとりが関心を持ち、地域の総力で防災体制を整備することが重要です。この様な取組みの中で消防団として、どの様に対応するのか考慮して頂けると大変有り難い事だと思えます。出来る限りの支援は致しますので宜しく願います。今年も区内各所において夏祭りが開催されますが、神輿を中心に一つになり、「ワッショイ」の掛け声のなか、

町内を練り歩く姿は見事です。まさに、わが江東区にはすばらしい「地域コミュニティ」があり同時に地域を担う「まちの力」がある事を実感します。

この力を安心、安全なまちづくりにも役立てたいと考えており、消防団員の増員という事にも繋がっていくのではないかと思います。しかしながら、豊洲地区に見られる様に高層マンションが建設され、そこに新しく区民になった方が住み人口こそ増えましたが消防団員になる方が少ないという事も起ってまいります。江東区としては増員に向けての努力、例えば江東区報に募集記事を掲載する等の支援をしますもので、深川消防団としても、増員の努力を行えば促進効果がでるのではないのでしょうか。この様に江東区として消防団に対する支援を積極的に行いますので、消防団の皆様には、様々な訓練等に励んで頂き、地域の防災に取り組んで頂きたいと思えます。

これからも、生業の傍ら、お忙しいかと思いますが、どうか安心・安全なまちづくり、コミュニティづくりの中核的なメンバーとして、消防団員のみなさまが活躍されますことを心から期待しております。

(第十分団金子編集員)



山崎区長とさきもり編集委員

深川消防団に対する「まちの声」は「まちの声」はお聞きしました

深川地区内連合町会長に

お聞きしました

深川消防団に対する「まちの声」はと言うテーマで、平成20年9月10日(水曜日)15時30分から17時10分まで、深川消防署三階小会議室において、深川地区内連合町会長四氏にお集まり頂き、様々なご意見・ご要望を頂戴致しました。

その懇談内容は次のとおりです。

一つ目は「町会と消防団は」

コミュニケーション」が大切

町会と消防団は、いかに密接な関係を保つことによって、消防団の存在を地域の住民に対し、アピール出来るかという事

例えば、年間を通して消防団が、どのような行事、どのような活動、分団の人員及び状況等がどのようになっているかを、地元の町会長等に報告をして貰いたい。また、機会あるごとに積極的に町会等の会合に参画し、話をして貰いたいと思っっている会長の声もありました。

現在、各分団の事情は有るものと思えますが、消防団の活動状況が私どもには、はっきりと見えない、町会との連携が薄くなっているのでは無いかと



宍倉 隆司氏 (東陽地区連合町会長)

危惧いたしておりますと、ご発言がありました。

二つ目は「町会を巻き込んだ

防災訓練の実施」が大切

我々も各町会の会合等に出席したり、町会の防火・防災部等との定期的な交流会を開催して頂きたいと思っっている事

例えば、町会等の定期的な会合若しくは各分団の定期的な会合に消防団員又は町会の役員等々が参加し、様々な防災に関する知識等をお互いに、勉強し地域の為に少しでも貢献できるように研鑽すべきと思っっていると、会長から話が出ました。また、町会主催の行事には積極的に参加し、町会に消防団此処に在りと言う姿勢を見せて頂きたいと思っいます。



齊藤 慶司氏 (白河地区連合町会長)

なお、消防団の活動服や制服で、地域の消防団員一人ひとりを表に出していく事が非常に大切かと思っいます。また、連合町会長の会合に団長、副団長、分団長が出向き意思の疎通を図る等の「コミュニケーション」の醸成を図ることが大変重要であると、ご発言がありました。



小川 壽也氏 (小松橋地区連合町会長)

三つ目は「女性消防団員を

どう活かしていくか」が大切

消防団には、30数名の女性団員が居ると言う話ですが、今後は女性団員をいかに全面にだし、地域の防災訓練時に活かしていくべきであるかという事

例えば、女性団員も様々な職に付き、様々な知識・技術を持つている団員が大勢います。女性としてのソフトな面を全面に出す、通報訓練、初期消火訓練及び応急救護訓練の指導を行うことが、今求められている内容ではないでしょうか。また、様々な防災訓練現場において、防災教育の一環として「腹話術による防災の話」「クイズによる防災知識の醸成など」の活動を、男性



細野 昌宏氏 (豊洲地区町会自治会連合町会長)

には出来ない女性団員の奮闘振りを、多くの町会・自治会の住民の皆様方に見て頂くことが大切であると思っわけでありませう。更に、女性団員に対する期待感や役割がしっかりと確立される事が望ましいのではないのでしょうか。昔の言葉に、

隣保共助体制「三軒両隣」

と言う言葉が有るように、皆が助け合う事が一番必要かと思われませう。

それには、消防団が一番、地域の人達を知っている、期待されているわけですので、今後は町会等の会合等に積極的に参画し、緊密な関係を保つていく事が最大の目的と思われませう。

最後に、様々なご意見を頂戴し、深川消防団が益々発展するよう団員一同頑張つて行かなければと思っいます。4連合町会長様からの貴重なご意見を頂き、大変有意義な座談会となりました。お忙しい中、有難うございました。

消防団 豆知識

災害時に於ける消防署の各隊長の役割及び指揮系統について概要を説明いたします。

1 指揮本部長（大隊長）の任務は

- (1) 管轄区域内の火災等に出場する。
- (2) 出場各隊を統括指揮する。
- (3) 消防活動の方針を決定して、状況に適應する部隊配備を定め、必要と認めるときは、消防部隊、資器材等の応援要請をする。
- (4) 現場通信の適切な運用等の処置を講ずるとともに、火災に至った経過等の把握及び効果的な現場広報等をする。
- (5) 現場における消防部隊の中核として最大の消防活動効果を挙げるよう努めるものとする。

2 中隊長の任務は

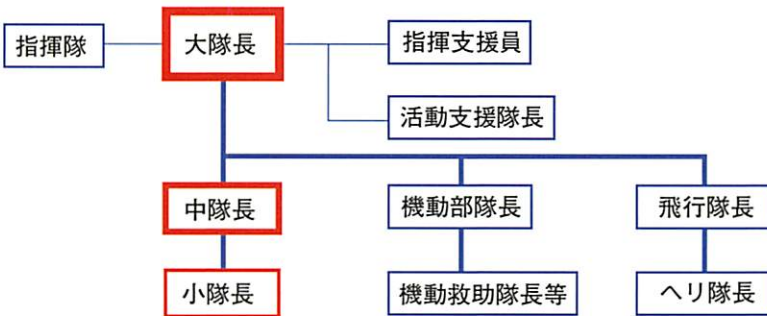
- (1) 指揮本部長の命を受け小隊長以下を指揮し、速やかに自己担当面の活動方針を決定し、消防活動に当たるものとする。ただし、命令を受けるいとまがないときは、自己の判断によるものとする。
- (2) 火災等の状況、自己中隊の消防活動概要、処置等について指揮本部長に速やかに報告するものとする。

3 小隊長の任務は

- (1) 中隊長の命を受け小隊員を指揮し、速やかに自己隊員の担当任務を決定し、消防活動に当たるものとする。ただし、命令を受けるいとまがないときは、自己の判断によるものとする。
- (2) 小隊長は、自己隊の消防活動概要、処置等又は担当面の火災状況について、中隊長に速やかに報告するものとする。

※ 大隊長が指揮本部長となる場合

摘要 ——— 線は指揮系統 ——— 線は補佐系統を示す。



訪問記

有明分署



有明分署長 西原 健治
消防司令長

有明分署は江東区最南部の有明一丁目から四丁目・青海一丁目から二丁目地区を、署長以下約37名の署員で任務にあたっています。有明分署は深川消防署並びに臨港消防署のレインボータウン出張所として平成10年に開設され、平成12年に組織改正に伴い昇格、深川消防署「有明分署」として開署、事務を開始しました。

管内には東京ビックサイト、パナソニックセンター、TOCビルなどの大規模コンベンション施設やビーナスタフオートに代表される大型商業施設が林立するなど、流動人口すなわち不特定多数の来街者の多いエリアです。

一般的な住宅地とは異なり、町会・自治会を対象にした消防訓練を実施しにくい地域でもあります。そこで有明分署では日頃から、万が一の災害等に備え、管内にある施設並びに高層建築物の管理責任者等を対象に避難誘導の心得や防火・防災マインドを高める啓蒙活動に力を入れています。

具体的には、あらゆる機会をとらえ署員がビル所有者並びに管理者を訪問し、

図面等を見ながら、消防設備・避難誘導路を確認するようにしています。また救急活動においては、近年、晴海通りの延伸さらに、平成17年には癌研有明病院の開院に伴い、豊洲地区を経由しなくても都心部の病院に患者をよりスピーディーに救急搬送できるようにになりました。



今後は有明・青海地区の人口の急増が見込まれますが、同地域における消防団員数は現在のところゼロです。「第十分団の皆様と協力しながら、団員獲得に精進したい」（西原分署長）と述べられました。

今後も、地域のみなさまの安心・安全な暮らしを支援し、防火・防災活動を行うためにも、消防団と消防署員が車輪の両輪となって、手を携えながら活動していきたいと語っていました。

経歴

昭和62年東京消防庁入庁
大森署を振り出しに、品川、本庁警防部、総務省消防庁勤務を経て深川消防署有明分署に赴任。
平成19年4月1日付で

有明分署長の職に就かれた。

(第十分団金子編集員)

大門通り (扇橋公園前)



水の高さが、
水量が違う、
水掛け

永代橋から
門前仲町へ →



◆神輿だあー・水掛けだだあー
わっしょい! わっしょい!
今年の深川の夏は熱かった。
三年に一度の例大祭が各町会であり、
消防団が神輿への水掛けや警戒など大忙しであった。

団活動あれこれ
以降の!
操作大会!



ふかがわのきれい処



東京都・中央区・江東区
総合防災訓練行われる
猛暑の中深川・城東両消防団も参加
【期日】9月31日 場所/木場公園
防災の日(9月1日)を前にした、
8月最後の日曜日に都内各地で平成20
年度東京都・中央区・江東区合同総合
防災訓練が行なわれました。
その会場となった、木場公園では消
防・警察・自衛隊など各関係団体、ま
たライフラインに関わる水道局や各民
間企業まで含んだ大規模な訓練が実施
されました。

我々消防団もこの機会を利用し、イ
ベント広場において消防団員募集のコ
ーナーを設置、見学に来ていた住民に
対し、消防団員によるPR活動が行な
われました。



訓練時間中、葛西橋通りの
木場公園に挟まれている部分
が完全通行止めになり、その
場所ので訓練全体の締めくくり
として深川・城東両消防団及
び災害協力隊による、一斉放
水が行なわれ、普段見ること
が出来ないほどの壮観な景色
でした。
見学者には、多彩な訓練が
見られ行政の対応力もさること
ながら災害時に頼りになる
消防団を見せられたと自負し
ています。

女性団員、署体験実習

体験者 第三分団 団員 中山 さち
第三分団 団員 五明由喜美

去る9月13日、私たちは女性2名で深川消防署で一泊の体験実習に行ってきました。

当初、分団長から話を伺ったときには一も二もなく参加を希望した私たちでしたが、果たしてきちんと「体験」できるのかどきどきの心境で当日を迎えました。

まずは署員の方々に挨拶を済ませてから、説明を受けましたが、いつ出場がかかるのか、どうすればいいのかが気になって落ち着かない私たちに担当をしてくださった小林さんが一つひとつ丁寧に教えてくださいました。まずは自分たちが出動するときにはどうすればいいのかを教えて頂いて（ほと）



それから、消防車の機材等を見せていただき、説明を受けました。どのように、消防・救助活動を行っているのか。

119番通報

を受けてから出動するまで、そして、

出場してからどうするのか。などなど、休憩を挟みながら約2時間に渡り説明を受けました。誌面の都合上、詳しくここでお話できないのは残念ですが、

実に自分たちの知らなかった事の多さに驚き、反面、新しく知ることが出来た事が嬉しい時間でした。それからの待機の時間中、

消防活動の場合にのみ出動に同行させて頂けると言う事だったので、不謹慎ながら出場はかからず、私達の消防署体験は朝、美味しい朝食を頂くことで終わってしま



ったものではあります。特に記憶に残ったことは、とにかく、救急の出動が多かった事です。そして、署員の方々の穏やかさでした。平時に心を冷静に保てる事こそ急時に集中力を発揮できるものなのだ。と勝手ながら納得し、感慨深く深川署を後にした私達でした。

最後になりましたが、丁寧に指導してくださった小林さん、お世話をしてくださった上野さん、そして勤務中、快く色々ご説明くださった署員の方々、この体験を通して、より身近に「消防活動」について感じる事ができました。本当にありがとうございます。

(第三分団 阿部 編集員)

幹部研修旅行記

日本航空整備工場を見学

【期日】6月14日 場所/羽田空港

深川消防団の幹部親睦会及び視察研修旅行が行われました。

参加者は羽田の日本航空整備工場を訪れ説明を受けた後、格納庫にある整備中の航空機や、隣り合った滑走路を頻繁に離着陸する航空機を見学しました。

移動中は係の方からの詳細な説明がありました。説明を受け消防団幹部からも、運航中に起きた火災の対処や普段の備えなど防災対策についての真剣な質問が行われました。

羽田空港を離れたあとは、熱海の南明ホテルに一泊し、和気あいあいとした雰囲気の中、時間を忘れ、消防署の方と団本部・各分団長方が情報交換等が行われました。



熱中症対策ペットホルダーを必ず携帯しましょう

(団活動時に使用)

このことについて、消防団活動時における熱中症の未然防止について(平成20年6月18日20深消防団第34号深川消防団長通知)に基づき、熱中症対策用としてペットボトル・ホルダーを配布しました。有効に活用してください。



ベルト通しを利用した、ペットボトル・ケースの携行状態

モデルは誰でしょう?防災係へお尋ねを!



第30回深川消防団消防緑法大会

【期日】6月1日 場所/数矢小裏高速下

緑法が今回より「町野式」に

前日までの小雨模様も晴天に変わった日曜日に行われました。

今回よりネジ式ホースが町野式(ワントッチ式)ホースに変更され、基本タイムも短縮された中、選手達は積み重ねた町野式訓練の成果を競い合った。隣の数矢小運動会の歓声と多くの観客の声援も後押ししてくれた様です。

また、結果発表前に来賓や観客の方々に、第三分団に配備された小型ポンプ積載車のお披露目及び説明がなされました。

(説明・第三分団長 平山敏夫)



優勝した第八分団

優勝 第八分団
準優勝 第一分団
第三位 第三分団

優秀個人賞



四番員
第一分団
長谷川 班長



三番員
第八分団
山添 副分団長



二番員
第一分団
岩崎 団員



一番員
第八分団
鳩貝 副分団長



指揮者
第一分団
志村 部長

表彰者の紹介

◆深川消防署長表賞(九月三十日)

消防活動功労
倉庫火災 三好3丁目7番地2号
第三分団・第四分団出場

A.E.Dを活用しましょう

消防署には、現在4台の訓練用が用意されており、各分団は、団員や地域住民へ周知し、防災訓練などに十分活用して下さい
■お問い合わせ
深川消防署
警防課防災係まで

「ワンポイント」

今回は、路上で倒れている人を見かけたら、貴方はどうしますか
「大丈夫ですかと声をかける」
○反応が無かったら
「119番通報する」
●反応があったら
「本人が、何を臨んでいるのかを確認する」
救急隊が来るまで現場にて
容態観察をする

編集後記

深川消防団ではここ数年、活性化について様々な取組みをしてまいりました。少しずつではありますがその効果は出てきている様に思われます。

今回深川地区の連合町会長にお集まり頂き消防団へのご意見をお聞きし正直、驚きやら、やはりそうだったのかとの思いがしました。地域とのコミュニケーションの大切さを強く強調された事に私たち団員は気が付く様で気が付いていない、井の中の蛙であるとの思いがします。
活性化とは、我々の極身近な足元にあったような気がします。
足元を見据えて、更なる深川消防団の活性化に臨みたいものです。
(頓珍漢)

深川消防団員募集中!!

女性・勤務者・学生の方大歓迎

入団資格

- 心身ともに健康で、十八歳以上の方
- 消防団の区域内に居住、又は勤務の方
- ♣ お問い合わせ

深川消防団本部(深川消防署内)
電話 〇三(三六四)〇二九